

危機意識ゼロ!

台風21号

問われる知事の対応と行動

知事 応急対策のトップに立たず 午後6時半に帰宅

9月4日、50年に一度といわれる超大型の台風21号が大阪を直撃。関西国際空港では1期島が冠水、連絡橋にタンカーが衝突し、8,000人が孤立。府内では約60メートルの暴風が吹き荒れ、各地で電柱がなぎ倒され、木々が倒れ、屋根瓦が飛び、看板類が飛び、最大約96万戸が停電するなど、甚大な被害が出ました。

府のマニュアルでは、「台風が上陸し、被害の発生が予測される時」は知事をトップとする組織を立ち上げ、災害応急対策は災害対策本部(知事が本部長)が行うことになっています。

しかし**災害対策本部は設置されませんでした(大阪北部地震の時は設置)**。

4日午後5時過ぎ、関空の孤立、多数の救急通報、倒木による山間部の孤立集落、DMATの派遣準備、53病院はじめ多数の停電など、府内各地で緊迫した状況が続く中、松井知事は「今のところ命を落とされた人はいないという報告なので、まずは一安心。大阪圏域を台風は出て行ってくれたみたいなので、復旧に向けて明日から作業にかかりたいと思います」とマスコミの取材に答え、全容も分からず被害が拡大し続ける中、**午後6時半に退庁してしまいました**。その後も、府内各地では夜を徹した必死の復旧活動が行われていましたが、知事は陣頭指揮を取るところか府庁にもいませんでした。そして**夜明けとともに被害状況が少しずつ判明し次第に被害が拡大する中、知事は悠長に午前11時に登庁しました**。



【台風21号と大阪北部地震の被害状況】

10月1日現在

	災害対策本部の設置	人的被害		住家被害			非住家被害
		死亡	負傷者	全壊	半壊	一部損壊	
台風21号	×	8名	485名	12件	155件	42,735件	1,502件
大阪北部地震	○	5名	361名	14件	327件	44,166件	723件



大規模停電が続く中、知事は沖縄へ

台風上陸から3日後の9月7日、府内で停電が9万件、負傷者、一部損壊とも増え続ける状況の中、松井知事は沖縄へ選挙応援に行きました。日本維新の会の下地議員のツイッターには、笑みを浮かべビーチを眺める松井知事の姿が投稿されています。

多くの死傷者が出て、かつてないほどの大規模な建物被害も発生。府内各地で懸命な復旧作業が続き、府民の皆さんが大規模停電で不安な日々を過ごし、迫る雨に備えて屋根にブルーシートを張るなど対策を迫られる中、優先してやるべき公務はなかったのでしょうか。**公務ではなく選挙の応援で沖縄に行ったことは極めて疑問です**。



最悪の事態を想定して最善の策を講じるべき

台風21号の対応・行動はどう考えてもおかしいと考えます。10月2日、自民党府議団の代表質問が行われ、杉本太平政務調査会長が知事の対応、行動を指摘。知事からは「危機管理監が責任者として適切な対応をした。何が間違っていたか言ってほしい」と答弁が返ってきました。

府民、被災者の気持ちに寄り添うことが知事のあるべき姿ではないでしょうか。被災者の皆さんの気持ち、懸命に災害復旧に当たっていた皆さんの気持ちを考えると言葉が見つかりません。災害対応に100%はないかもしれませんが、悪い部分があったなら、指摘、批判に耳を傾け、反省するところは素直に反省することが大事です。危機管理の基本は「最悪の事態を想定して最善の策を講じること」であることを肝に銘じてもらいたいです。

